

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

2025年は大阪で日本国際博覧会（大阪・関西万博）が開催された年になった。国際博覧会は、日本において「万国博覧会」、略して「万博」と一般的に呼ばれるが、この万博というイベントはどのように始まったのだろうか。

万国博覧会の始まりは、ロンドンで1851年に開催された国際博覧会だとされている。このロンドン万博において展示のメイン会場となったのは「クリスタルパレス（水晶宮）」とよばれた、大量の鉄とガラスが用いられた巨大建築物だった。これは、鉄やガラスなど工業製品の大量生産を可能にした（①）によって「世界の工場」となったイギリスの威信を示す建物でもあった。万国博覧会では、各国が自国の最新技術や工業製品、美術品や工芸品を出品し、産業や科学技術の優秀さを競ってアピールするイベントという性格を有していた。1851年ロンドン万博を皮切りに、欧米各国の大都市で万国博覧会が開催されていくことになるが、とりわけフランスのパリは、1900年までに5回も万博を開催する都市となった。④1889年の第4回パリ万博の際には、現在でもパリの名所として知られるエッフェル塔が建造されている。

日本が万博に正式に参加したのは1867年の第2回パリ万博からである。しかし、この時の万博には、徳川幕府、（②）藩、佐賀（肥前）藩それぞれが別に出品を行っており、幕末の政治状況がうかがえる。6年後の1873年のウィーン万博へは、明治政府が日本を代表して出展した。明治政府にとって万博とは、欧米各国に対して「文明」国としての日本をアピールする格好の場であった。

万博が人気を集めた19世紀後半は同時に、⑤欧米や日本が経済力と軍事力による植民地獲得競争に明け暮れた時代でもあった。19世紀後半から20世紀前半の万博では、欧米各国や日本が自国の植民地の物産などをこぞって出展し、自らの植民地支配の正当性を誇示した。そして、支配をする側を先進的な「文明」として、支配を受けている植民地の社会やその住人たちを後進的で「未開」な存在として、対比的に展示した。このように近代の万博の歴史をたどると、人類の「進歩」や「発展」という明るい側面だけでなく、⑥過去の植民地支配と人種差別の問題が浮かび上がってくる。

問1 空欄①にあてはまる語句を漢字4字で答えなさい。

問2 空欄②には、幕末に長州藩と連合して徳川幕府に対抗した有力な藩の名前があてはまる。空欄②に入る語句を次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 会津 イ 水戸 ウ 薩摩 エ 福山 オ 足守

問3 下線④に関して、1889年の第4回パリ万博は、ある出来事の100周年を記念して開催された。1789年に起きた、ある出来事とは何か。カタカナと漢字をあわせて6字で答えなさい。

問4 下線⑤に関して、こうした植民地獲得や拡大の動きを何と呼ぶか。漢字4字で答えなさい。

問5 下線⑥に関して、イギリスの植民地となった南アフリカでは、1910年の自治領南アフリカ連邦成立後も、ヨーロッパからの白人入植者とその子孫たちによる支配体制が続いた。南アフリカにおける政策としての人種差別について、次の3つの用語を用いて70字以内で説明しなさい。

（用語）白人系住民 非白人系住民 アパルトヘイト

なお、それぞれの用語を最初に用いた際には、その下に線（例：白人系住民）を引きなさい。

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日本では20世紀初頭、工業化の進展や義務教育の普及、徴兵制などを背景に大衆の政治運動が活発化した。そして、大衆による政治への影響力が増すなか、(①) 年には、㉠男子普通選挙法が実現した。また同時に、1917年の(②) 革命を受けて盛んになっていた社会主義運動を取り締まる(③) も制定された。

一方、女性の権利向上を目指す動きも強まり、㉡女性の参政権についても、(④) らが新婦人協会を結成し活動を行った。しかし、女性の参政権は第二次世界大戦終結後の(⑤) 年に衆議院議員選挙法が改正されるまで実現しなかった。

問1 空欄①にあてはまる年号を、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 1923 イ 1925 ウ 1927 エ 1929

問2 下線㉠に関して、この法律が制定されたときの首相は次のうち誰か。次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 原 敬 イ 犬養毅 ウ 若槻礼次郎 エ 加藤高明

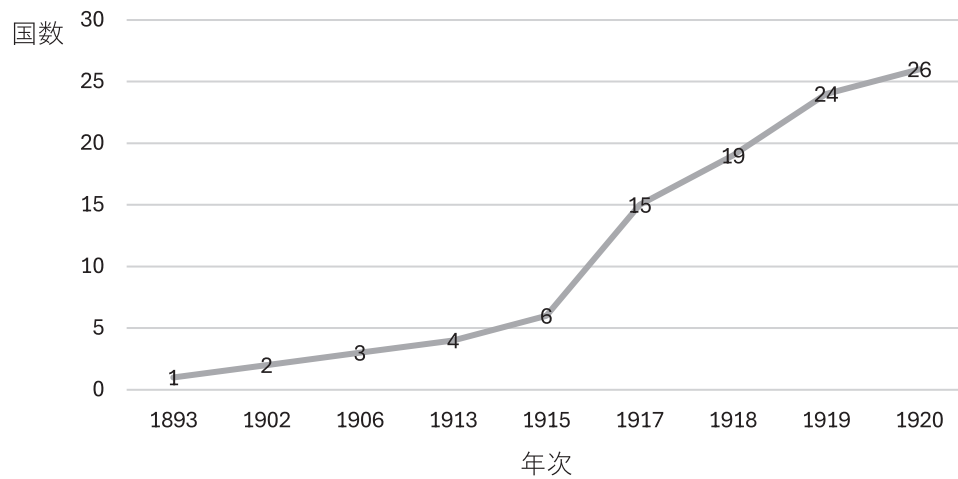
問3 空欄②にあてはまる国名をカタカナで答えなさい。

問4 空欄③にあてはまる法律の名称を漢字5字で答えなさい

問5 下線㉡に関して、世界各国、とくに欧米諸国では、第二次世界大戦終結以前から、女性に普通選挙権が認められるようになっていた。そのことを示す図1を踏まえて、女性の普通選挙権が欧米諸国を中心に拡大した背景を、次の3つの用語を用いて、120字以内で解答欄に記入しなさい。

(用語) 1914年 社会進出 総力戦

なお、それぞれの用語を最初に用いた際には、その下に線(例：1914年)を引きなさい。また、数字は1マスに2文字まで書いてよい。



(図1) 女性の普通選挙権導入国数の推移

【出典】 Our World in Dataのデータを基に作成

問6 空欄④にあてはまる人物を、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 与謝野晶子 イ 菅野スガ ウ 平塚らいてう エ 伊藤野枝

問7 空欄⑤にあてはまる年号を、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 1945 イ 1946 ウ 1947 エ 1948

- 3** 次の文章は、アメリカとソヴィエト連邦（以後、ソ連）の軍事的緊張が極限まで高まる状況下、アメリカ合衆国第35代大統領ジョン・F・ケネディから、ソ連の首相宛に送られた書簡（1962年10月22日付）の一部分である。文章を読んで、後の問いに答えなさい。

**著作権等の都合により
公開いたしません。**

問1 アメリカのケネディ大統領がこの書簡を送ったソ連の首相とは誰か。次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア スターリン イ フルシチョフ ウ ゴルバチョフ エ カストロ

問2 この書簡が示す、1962年秋にアメリカとソ連の間で緊張が極限まで高まった事件を何と呼ぶか。カタカナと漢字をあわせて6字で答えなさい。

問3 下線㉑に関して、この書簡の前年1961年に東ドイツ政府は、東西ベルリンの人の往来を完全に遮断するため、ある建築を開始した。この建築物とは何か。6字で答えなさい。

問4 下線㉒に関して、アメリカがカナダ・西ヨーロッパ諸国ら12ヵ国と1949年に結成した軍事同盟を何と呼ぶか。漢字8字あるいはアルファベット4字のいずれかで答えなさい。

問5 この事件の収束と事件後のアメリカとソ連の関係の変化について、次の3つの用語を用いて105字以内で説明しなさい。

（用語）ミサイル基地建設 核戦争 部分的核実験禁止条約

なお、それぞれの用語を最初に用いた際には、その下に線（例：核戦争）を引きなさい。

4 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

1950年代初頭、日本は ㉠朝鮮戦争に伴うアメリカ軍向けの物資の需要により景気が大きく回復した。その後、工業生産は急速に拡大し、国民生活にも変化が現れた。1956年の『経済白書』には ㉡「もはや『戦後』ではない」という表現が登場し、戦後の経済復興を終え、日本経済は次の段階へと向かうべきことが示された。

1960年には、首相となった（ ㉢ ）が「所得倍增計画」を打ち出し、耐久消費財の ㉣3C も普及して生活水準は飛躍的に向上した。しかし、「高度経済成長」といわれるこの急激な変化の陰で、四日市ぜんそくなどの ㉤四大公害が深刻化した。

（ ㉥ ）年には中東戦争を契機に第1次オイルショックが発生し、日本経済は大きな打撃を受けた。この時期には、石炭から石油へとエネルギー革命が進み、各地でコンビナートの建設が進められた。岡山県倉敷市には（ ㉦ ）コンビナートが造成され、重化学工業の拠点となった。

問1 下線㉠に関して、日本経済が戦後復興を遂げる大きな契機となった需要を何と呼ぶか。漢字2字で答えなさい。

問2 下線㉡に関して、下記の〔資料1〕と〔資料2〕を踏まえて、「もはや『戦後』ではない」という言葉が、経済白書で意図された意味と、社会一般に受け止められた意味との違いについて、90字以内で説明しなさい。

なお、〔資料1〕は、下線㉡を含む前後の文章の『経済白書』からの引用である。また、〔資料2〕は、朝日新聞が2015年12月25日にインターネット上で公開した「戦後史ビジュアル年表」からの引用である。

〔資料1〕

戦後日本経済の回復の速やかさには誠に万人の意表外にでるものがあった。それは日本国民の勤勉な努力によって培われ、世界情勢の好都合な発展によって育まれた。

しかし敗戦によって落ち込んだ谷が深かったという事実そのものが、その谷からはい上がるスピードを速からしめたという事情も忘れることはできない。経済の浮揚力には事欠かなかった。〔中略〕消費者は常にもっと多く物を買おうと心掛け、企業者は常にもっと多くを投資しようと待ち構えていた。いまや経済の回復による浮揚力はほぼ使い尽くされた。〔中略〕㉡もはや「戦後」ではない。我々はいまや異なった事態に当面しようとしている。回復を通じての成長は終わった。今後の成長は近代化によって支えられる。そして近代化の進歩も速やかにしてかつ安定的な経済の成長によって初めて可能となるのである。

【出典】1956年版『経済白書』

〔資料2〕

「もはや戦後ではない」、1956(昭和31)年の経済白書は、日本経済の復興を高らかに宣言した。朝鮮戦争〔中略〕をきっかけに日本経済は立ち直り、未曾有の好景気は「神武景気」「岩戸景気」と命名され、大量消費社会が到来した。家電が飛ぶように売れ、スーパーマーケットは開店が相次いだ。即席ラーメンは「国民食」となった。

【出典】朝日新聞・戦後史ビジュアル年表「6 高度成長の足音」

問3 空欄①にあてはまる首相の名前を、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 岸信介 イ 佐藤栄作 ウ 三木武夫 エ 池田勇人

問4 下線㉓に関して、高度経済成長期の日本で「3C」として普及した耐久消費財に含まれるものはどれか。次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア コンピューター イ カーナビ ウ コーヒーメーカー
エ コードレス電話 オ カラーテレビ

問5 下線㉔に関して、四大公害の発生地域ではない都道府県はどこか。次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア 熊本県 イ 神奈川県 ウ 富山県 エ 新潟県 オ 三重県

問6 空欄②にあてはまる年号は西暦何年か。数字で答えなさい。

問7 空欄③にあてはまる地名は何か。漢字2字で答えなさい。